

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		安全・安心な道づくり					所管	都市づくり部 土木課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	192	計画事業名	安全・安心な道づくり			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 42 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進					[事業開始] 平成17年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	法令(義務)	〔法令等名〕			道路法				
	事業対象	直接の対象 : 一般区民、道路利用者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	歩道の新設、拡幅、バリアフリー化を推進することにより、歩行者の安全性・快適性の向上及び交通の円滑化を図る。								
	事業内容 [H30年度]	【工事内容】 歩・車道舗装工、街築工、排水施設工、交通安全施設工ほか 【H30年度整備延長】 歩道のバリアフリー化:1,085メートル								
	委託の有無	なし	委託内容			なし				
補助金の有無	国・都									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
					目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	歩道のバリアフリー化整備延長		m	500	949	1,051	1,085	1,200	90.4%
	成果指標	歩道のバリアフリー化整備延長(累計)		m	16,922	12,544	13,595	14,680	14,795	99.2%
	決算額 (単位:千円)					H28年度		H29年度		H30年度
						611,180		502,810		503,651
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				18,726		23,044		24,245
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				76		69		69
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				611,105		502,741		503,583
		総経費				629,907		525,854		527,897
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		119,177		63,732	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				38,475		34,100		57,080	
	一般財源(区負担額)				591,432		372,577		407,085	
課題及び今後の進め方	人材・資器材の効率的な活用や担い手の処遇改善の観点により、工事の準備期間に余裕をもたせる等、工期設定が長くなってきており、大規模な道路工事においては、単年度での完成が難しくなっている。このため、債務負担行為の活用など、計画的な発注を行う必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国内外から高齢者や障害者を含む多くの人が訪れることが想定されるためニーズは増加している。							
	効率性	3	施工条件に合わせ、適切な設計・施工をしている。							
	手段の適切性	3	歩車道分離及び歩道のバリアフリー化は、安全性・快適性の観点から有効であり、適切である。							
	目的達成度	3	計画に基づいた歩車道分離及び歩道のバリアフリー化は、おおむね目標を達成している。							
【総合評価】 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。							今後の方向性			
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、来街者が増加傾向にある。そのような状況の中、効率的な事業実施に努め、事業は概ね良好に進捗している。区民をはじめ、すべての道路利用者が安全・快適に通行できる空間を提供することは重要であるため、着実に整備を行っている。							維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	